

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
歴史学	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	秋山 正道
授 業 概 要					
<p>21世紀は人権の世紀といわれています。人類はその長い歴史を通してどのように人権を獲得してきたのでしょうか。国の人権教育基本指針で取り上げられた様々な人権問題について、個別の問題がどのような歴史的経緯を経て現在にいたっているのかを明らかにします。その際、日本の歴史だけでなく、世界史上のできるだけ多くの時代や地域を取り上げることによって、より広い視野で歴史を学べるようにします。</p> <p>過去を振り返ることによって、今までの自分の生き方や社会のあり方を見直すことは歴史を学ぶ上で大切なことです。そのために、自ら調べたり発表したりする学習も積極的に取り入れて、歴史をより身近な存在として感じ取ることができるような学習にしたいと考えています。</p>					
到 達 目 標					
<p>何故その様な事態に至ったのか？どうしてその様なものが生まれたのか？といったように、なぜ、どうしてという歴史に対する探究心を、自分自身の手で発展させ、それに対しての解答を見つけることができる能力を養うこと、それがこの授業における学習の到達目標です。</p> <p>そのためには知識の集積も重要です。日本の歴史や世界の歴史についてより多くの知識を自ら求め、その知識を活用して歴史に関する理解や関心を高めることによって、より深い歴史認識をもつことができるようにしたいものです。</p> <p>また、医療にかかわって、感性を豊かにし、より高い倫理観をもつようになることも期待します。</p>					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	ナイチンゲールと人権～人権問題とは何か				秋山 正道
2	女性をめぐる人権問題～人物をとおして（ジャンヌダルク、ストウ夫人、キュリー）				
3	女性をめぐる人権問題～人物をとおして（光明皇后、北条政子、菅野スガ）				
4	子どもをめぐる人権問題Ⅰ～歴史上、子どもはどのように位置づけられてきたか				
5	子どもをめぐる人権問題Ⅱ～学校制度の中の子どもの問題				
6	高齢者をめぐる人権問題～いわゆる老人問題の移り変わり				
7	障害者をめぐる人権問題～様々な障害についての歴史				
8	同和問題をめぐる人権問題Ⅰ～明治維新までの部落差別				
9	同和問題をめぐる人権問題Ⅱ～明治以後の部落差別のあゆみ				
10	外国人をめぐる人権問題～在日韓国・朝鮮人問題を中心に				
11	感染症患者をめぐる人権問題～エイズ・HIVとハンセン病の歴史的な経緯				
12	水俣病をめぐる人権問題～新潟水俣病を中心に水俣病についての歴史を学ぶ				
13	そのほかの人権問題～アイヌの人や性的志向・性同一性障害の人を中心に				
14	戦争をめぐる人権問題～世界史における空襲被害を考える				
15	現代における人権問題をどう考えたらよいか～東日本大震災を中心に				
学 習 方 法					
<p>意欲をもって調べたり、発表したりすることが基本的な学習態度です。そのためにいろいろな資料や機器を活用することが大切です。授業は、前半の40分間は調べてきたことの発表と意見交換（複数名による）、後半の50分間は講義形式で進めます。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕  科目終了試験50%、平常点50%（授業時間中の発表内容や質疑応答など）で総合評価する。</p>					
先修科目					
教科書、参考書					
授業中に指示します					